

たくましく心温かな中洲の子



- ◆ 令和2年 1月 8日（水）
- ◆ 諏訪市立中洲小学校

さあ、2020年のスタートだ！！



中洲小の皆さん、2020年が明けました。おめでとうございます。どんなお正月を過ごしましたか？今日からまた学校が始まり、2学期の後半です。6年生にとっては小学校最後の3ヶ月ですね。1から5年生も、一つ学年が進む日に向かって、また中洲小みんなが頑張っていきましょう。今年もよろしくお祈りします。

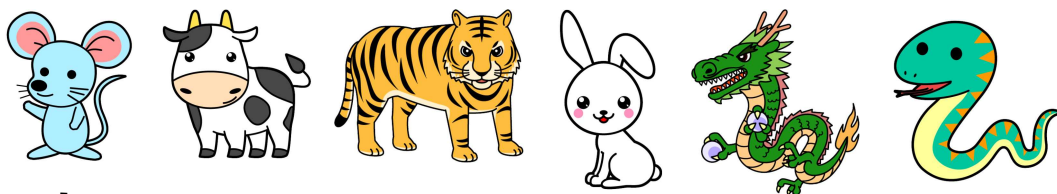
休みに入る前の日に、「感謝の気持ちで2019年を振り返ろう。」という話をしたら、校長室にもありがとうとわざわざ言ってきてくれる人やメッセージを持って来てくれる人がいました。玄関で見送った時にも、「ありがとうございました。」とか「よいお年を。」とか、たくさんの方が言ってくれました。こちらこそ本当にありがとう。その時思ったことは、ありがとうと言うと、相手がとても嬉しそうな顔をしてくれるので、それがまたとっても嬉しくなるということです。休み中に家族にありがとうって言えましたか？家族はすごく喜んでくれたでしょう。ありがとうという言葉は言った方も言われた方も嬉しい魔法の言葉ですね。感謝の気持ちがたくさん伝え合える、ありがとうがいっぱいの中洲小にしましょう。今朝は2つの話をします。

1つ目は、目標についてです。2020年、あなたはどんな年にしたいですか。「一年の計は元旦にあり」ということわざがあります。何事も最初が肝心ということです。一人一人がしっかり自分の目標をもって、それを達成するために努力出来る3ヶ月になるといいですね。先生達も、自分の目標をもっています。決めて終わり、ではありませんよ。それを達成するために、どうしたらいいのか考えて、努力や行動をしていくことが大事です。

一人ひとりはもちろんですが、新しい年の始まりに合わせて、各クラスで、1月から3月の目標をしっかり立ててほしいと思います。各クラスに目標を書く紙を配ってあります。そこに、クラスみんなで話し合っ、ただ立てただけの目標にならない、本当にクラスみんなで頑張れることを書いて、毎日そこに向かって行ってほしいんです。去年「ワンチーム」という言葉をよく聞きましたね。ラグビーの日本代表の試合を見た人もたくさんいたと思います。「ワンチーム」という目標は、コーチが決めたのではなく、選手が話し合っ、決めた目標だそうです。そして、素晴らしい試合を私達に見せてくれました。練習は本当にきつかったそうです。でもワンチームという目標をいつも頭に置いて、それを達成するためにみんなで頑張ったから、ワールドカップでベスト8という成績を残せたんです。まともが良いクラスほど、勉強もいろんな活動もよくできるようになるそうです。どうしてなのか、ぜひクラスで考えてみてください。皆さんのクラスはどうですか？2学期最初に立てた目標は達成できていますか？もう一度みんなで次の学年に進むために何をしたらいいのか考えて、そして、2学期が終わる時には、目標達成できたね、このクラスでよかったなあってみんなで思っ、1年を終わりにしてほしいなあとと思います。

2つ目はいつも話している“いのち”についてです。この休み中、1番嬉しかったことは、英語を教えてくれていた中山智奈先生が、12月28日に男の子を産んだことです。名前は篤司くん。飯田の病院に会いに行って来ましたが、とってもかわいかったですよ。すくすく育ってほしいですね。そして1番悲しかったことは、私が10年くらい前に1年から3年まで教えた子が去年の1月5日に亡くなってしまい、命日にお線香をあげに行ってきたことです。本当だったら今大学1年生になっているはずでした。10万人に1人という珍しい病気で、あんなに悲しいお葬式に出たことはありませんでした。将来はお医者さんになるのが夢のとても頭のいい女の子でした。病気になってお見舞いに行った時も、苦しい中でも病室でずっと勉強していたんです。1年たった今も、お父さんお母さんは亡くなったことが信じられないと言っていました。みんな、これから先も絶対に交通事故などには気を付けて、いのちを大事にしてください。

皆さんは十二支…子丑寅卯辰巳午未申酉戌亥…って知ってますね。今年は子年です。十二支の最初であり、ねずみは子どもをたくさん産むことから、繁栄の象徴とも言われます。玄関ホールに十二支の始まりのお話を貼っているので、時間がある時に見てください。中洲小学校の2020年が、ますます栄えていくことを祈って私の話を終わりにします。(児童に放送で話したことの概略です。)



十二支のはじまり

ある年のくれ、神様が動物たちに言いました。

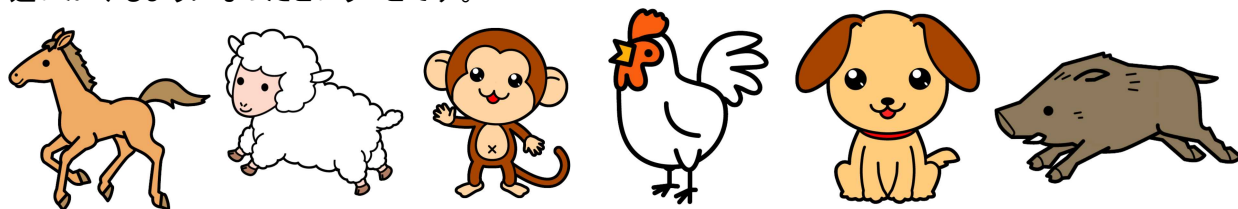
「元旦に、みんな、わたしのところにきなさい。先にきたものから十二番目までを、その年の大将にしよう。」

ところが、うっかりもののねこは、あつまる日を忘れて、ねずみに聞きました。ねずみは、「新年の二日だよ。」とわざとうそを教えました。

さて元旦、牛は足が遅いので、はやく家を出ました。

ねずみはこっそり牛の背中に乗って、神様の前に来ると、ぴよんととびおりました。それでねずみが最初の年の大将になり、うしがその次になりました。そのあとは、とら、うさぎ、たつ、へび、うま、ひつじ、さる、にわとり、いぬ、いのししの順になりました。

ねこはねずみに教えられた通り、二日に神様のところに行きました。すると、神様は、「きのう決まったよ。」と言うではありませんか。くやしいのなんの。おこったねこは、それからずっとねずみを追いかけるようになったということです。



本年も、よろしくお願ひ致します。